

# 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立玉幡中学校

## ■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

## ■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

## 1 調査結果について

### ■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は、全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に、読解力の定着が認められています。一方で読み解いたことを自分の考えとして表現する力が弱い傾向にあることがわかります。
- ・数学の平均正答率は、全国よりも低く課題がみられます。基礎的な数学力はあるものの、それらを活用したり、既存の知識を利用して、数学的な表現を用いて説明したりする力が弱い傾向がみられます。
- ・理科の平均IRTスコアは、全国より若干低いものの、一定の定着がみられます。公開問題のうち、実験や観察時の適切な対応方法や行動についての知識に高い正答率がみられます。一方で、実験や観察を行うことにより、どのような結果が導き出せるかを予想する力が弱い傾向がみうけられます。

### ■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目  
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目  
「学校の授業以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、PC、タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか」「学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」「数学の勉強は得意ですか」「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」とした生徒の割合が低いです。

## 2 これからの取組について

### ■学校で取り組んでいくこと

- ・生徒の考えや思いを伝え合う場面を授業や様々な活動に多く取り入れ、生徒の思考力・判断力・表現力を育てていきます。
- ・校内研究会において、ICT機器を有効利用した授業研究に取り組み、生徒の主体的学びに繋がる手立てとしていきます。
- ・国語の学習では、自分の考えが他者に分かりやすく伝わるよう語彙を増やし、表現を工夫する場面を設けていくことで根拠を明確にして考えていく力を育てていきます。
- ・数学の学習には、基礎基本のみならず、活用する力を付けさせるための授業内容の工夫や改善に取り組んでいきます。
- ・理科の学習では、観察や実験の授業に引き続き取り組み、日常の科学的な現象と結び付けていく力を育てていきます。

### ■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・家庭での会話から生徒が将来の目標を描き、自ら学習に取り組んでいくよう励ましの声かけをお願いします。
- ・生活のリズムを整え、ゲームやスマホ等を利用する時間のルールを決めて守らせてください。
- ・家庭に学校のタブレットを持ち帰った際には、学習のための有効利用をお願いします。
- ・アンケート結果から生徒の読書量が少ない傾向にあります。日頃より、親子でいろいろな本についての会話をしたり、新聞等で時事の話題を取り上げ、生徒が活字に触れる機会を増やしてあげてください。
- ・その日の学校での出来事や学習したことなどについて、家庭で会話をする時間を増やしてください。